

『上農で、わたしと伊那谷をデザインする』

～長野県上伊那農業高校「三つの方針」～

上農高校のある伊那谷は、多様な生命を育む里地里山に郷土を愛する人々が自分らしく生活する魅力あるところです。上農高校では、伊那谷のみなさんと協働して自分の生き方も活力ある伊那谷もデザインするチャレンジ精神あふれる生徒を責任もって育てます。

○上農高校の生徒育成方針

【上農で育てたい生徒】

- 主体的に生命と向き合い、生命に問う学びをとおして、自分の人生をデザインできる生徒
- 伊那谷で活動する学びをとおして、活力ある伊那谷をデザインするチャレンジ精神あふれる生徒

【上農ではぐくむ4つのチカラ】

- ※ 基礎学力 新たに学んだり、科学的に考えたりするときの基礎となるチカラ
- ※ 表現力 自分でよく考え、それを適切な手段でみんなに伝えるチカラ
- ※ 課題解決力 みんなの意見を聞き、みんなで分析して課題を解決していくチカラ
- ※ 実践力 探究心と好奇心をもって主体的に活動し、みんなでやり遂げようとするチカラ

○上農高校の教育課程編成・実施方針

【クラス編成の方針】

- ※ 3年間クラス替えを行わず、普通教科の授業はこのクラスで実施します。
- ※ 専門コースを決めたら、農業教科の授業はコースに分かれて実施します。
- ※ クラス集団とコース集団の関わり合いの中で、多様な友達との関わりを実現します。

【普通教科の特徴】

- ※ 3年次の「課題研究」につなげるため、中学で身につけた基礎の上に丁寧に学びます。
- ※ 数学・英語・3年の国語では、クラスを少人数に分けて基礎となるチカラを習得します。

【農業教科の特徴】

- ※ 入学後に農業学習の基礎・基本を学びつつ8コースを体験し、自分のコースを選択します。
- ※ 1年3学期から、コースの教材を探究心と好奇心をもって調べ、伝える学びへと発展します。
- ※ 3年ではそれまでの学びを融合させつつ伊那谷のみなさんと協働し、上農の学びの集大成としての「課題研究」で地域の課題発見と課題解決に向けた取り組みを行います。

【評価】

生命と向き合ったり、地域の方々と話し合ったりする上農の学びは、授業に加えてそれ以外の時間でも行います。試験は定期考査に加えて授業の中でも行い、授業ノートなどの大切な課題があります。これらを総合的に判断して評価します。

○上農高校の生徒募集方針

- ※ 中学校で行っているような普通教科も含めた教室での学びも、農場や伊那谷に出て行う学びも、両方を大切にできるみなさんを待っています。
- ※ 学校や伊那谷でおとなが何をしてくれるのか待つのではなく、自分からすすんで学ぼうとする目的意識をもったみなさんを待っています。